

人口増のまちづくりも 進めるべきでは

石崎 誠子議員

効率的な市街地整備を目指す

企画政策部長



▲愛西市立小中学校適正規模等並びに
老朽化対策基本計画素案

問 5月1日に永和学区の方々から「永和地区から中学校をなくす計画案の見直しを求める嘆願書」が市に提出されたが、その対応は。

答 基本計画素案には、永和中学校は、過小規模校となるまでに佐屋・立田統合中学校へ追統合するという内容は含まれていないことや、協議会案に、過小規模校になると見込まれる5年前までを目途に追統合の検討を開始すると記されている件は、現時点での決定事項ではないことも、あわせて伝えた。

問 今後、永和中学校は存続できるのか。また、小中一貫校として検討できないか。

答 永和中学校と永和小学校は、現時点において1学年1クラスという状況はなく、今後、一定の学校規模が維持できるところが見込まれば、必ず

しも適正化をしないといけないわけではない。

小中一貫校については、小学校と中学校がそれぞれ1校であり、学校規模が変わるわけではない。現段階では効果的な適正化の手段ではない。

問 人口が増えるようなまちづくりも同時に進めていくべきではないか。永和学区は高速のインターからも近く、JR永和駅や近鉄富吉駅があり、電車に乗れば15分程度で名古屋駅まで行けるような立地だ。これから対策を行えば、まだまだ人口が増える要素は十分あると考えるが。

答 人口減少、少子高齢化の到来を踏まえ、市内の鉄道駅を中心とした既成市街地周辺において、土地所有者や地元との合意形成の状況等を踏まえ、今後、優先すべき拠点の候補地を選定し、効率的な市街地整備を目指す。

高齢者等への
ごみ出し支援を

問 歩行や重いものを持つことが難しくなり、集積所まで持って行けないなど、高齢者等のごみ出しが困難な状況にある世帯への支援を、国からの交付金を活用し、支援の仕組みを構築しては。こうした現状をどう捉え、いつまでに、どう取り組んでいくのか。

答 高齢者や障がい者など、ごみ出しに困難を抱えている方々に対して、本人、家族、地域コミュニティ、福祉事業者及び行政と協議し、連携した体制整備づくりなどを引き続き行っていきたい。

人口が増えるようなまちづくりも同時に進めていくべきではないか。永和学区は高速のインターからも近く、JR永和駅や近鉄富吉駅があり、電車に乗れば15分程度で名古屋駅まで行けるような立地だ。これから対策を行えば、まだまだ人口が増える要素は十分あると考えるが。

人口減少、少子高齢化の到来を踏まえ、市内の鉄道駅を中心とした既成市街地周辺において、土地所有者や地元との合意形成の状況等を踏まえ、今後、優先すべき拠点の候補地を選定し、効率的な市街地整備を目指す。

歩行や重いものを持つことが難しくなり、集積所まで持って行けないなど、高齢者等のごみ出しが困難な状況にある世帯への支援を、国からの交付金を活用し、支援の仕組みを構築しては。こうした現状をどう捉え、いつまでに、どう取り組んでいくのか。

高齢者や障がい者など、ごみ出しに困難を抱えている方々に対して、本人、家族、地域コミュニティ、福祉事業者及び行政と協議し、連携した体制整備づくりなどを引き続き行っていきたい。